



相生小学校は開校134年になりました！ 同窓会役員さんを招いて、開校記念式を開催

2月5日は、相生小学校の開校記念日です。明治18年から続く歴史と伝統のある相生小学校は、今年で開校134年になりました。そして、10534名もの卒業生を送り出してきました。

6日(水)の全校朝会では、卒業生の代表として同窓会本部役員の方々をお迎えして、開校記念式をおこないました。同窓会長の祝辞では、小学生だった65年くらい前は、相生町1丁目から5丁目までの子どもたち全員が相生小学校に通っていて、一クラスが45人くらいのマンモス学校だったことや、学校にはまだプールがなくて、近くの渡良瀬川に行って泳いでいたエピソードなどをお話いただきました。そして、相生小学校の歴史がさらに積み重なるように、心身共に健康で過ごしてほしいと、子どもたちにメッセージを送っていただきました。

たくさんの卒業生が見守り、応援してくださっていることを、あいおいっ子たちは心に置いて、これからもがんばってほしいと思います。



PTA会長

同窓会長

副同窓会長

児童会代表のことば



児童会長 O・Rさん

私たちの相生小学校は、今年で134歳になります。

この相生小学校は、今から145年前に「大間々学校の分校」として開校されました。その頃は、こういった校舎もなく、お寺で勉強していたそうです。

名前が今の「相生小学校」になったのは、昭和22年で今から72年前です。この頃には、校舎はできていましたが、全てが木でできていて、冬などの寒いときはヒーターではなくストーブで温めていたそうです。また、私たちが学校生活を送っている今の鉄筋の校舎になったのは、昭和40年で今から54年前のことです。

今、私たちの相生小学校には、昔と違ってたくさんの施設があり、そして、いじめを防止するキャラクターのあいちゃんがいます。あいちゃんは、相生小学校からいじめがなくなり、よりよい学校になるために応援してくれて、みんなのことを見守ってくれています。また、「相談ポスト」や「あいちゃんポスト」「優しさの木」などがあり、代表委員もよりよい学校にするために頑張っています。

このような恵まれた環境の中で、多くの友達と出会い、楽しく生活できていることを私は誇りに思います。これからも勉強や運動を頑張り、残された学校生活を楽しんでいきたいと思っています。